

DOYU

あおり

2019 Jan

1

vol.213



- 02 青森同友会創立20周年記念行事
- 03 青全交in沖縄／ブロック支部長・地区会長交流会
- 04 経営指針を創る会 07 企業展
- 08 共同求人委員会三農バスツアー／新会員紹介
- 09 障がい者問題委員会コラム 10 会員の素顔／会員さんのページ

青森県中小企業家同友会

創立20周年記念講演

(株) マルヤマ

代表取締役 大和 英樹

青森県中小企業家同友会創立20周年の記念講演として一般社団法人アジア支援機構代表理事の池間哲郎氏を『日本はなぜ世界の国々からあいされているか』

「今、私達が学ぶべきこと」を題材にお招きしました。池間氏は沖縄県出身で映像制作会社を営んでおり、現役カメラマンでもあります。1987年からアジア各国の貧困地域の撮影・調査・支援を行い、自身の映像を用いて「命の尊さ、一生懸命に生きる事の大切さ」や「日本人が忘れていた事」を伝えるために全国の行政、企業、団体、学校などで3700回を超える講演を行っているそうです。

初めにこれから日本を背負っていく子どもたちの現状を話していました。その中で印象に残ったことは世界186カ国高校生からとったアンケートで「先生を尊敬しているか」「親を尊敬しているか」の結果です。

どちらも世界平均で7割近くの生徒が尊敬している中、日本は先生を尊敬している率が21%、親を尊敬している率は25%と世界186カ国中186位のダン

トツ最下位という結果でした。50%を切るとその国は滅ぶと言われているそうです。そして実際に取材に行った様々な国で、戦時中の日本人を知る方のお話を、映像を通じて紹介されました。どの国の方も日本人は紳士だった。感謝をしていると口をそろえて言っており、日本人を悪く言う人はほとんどいませんでした。現在の日本を作った先人の方々が世界の多くの人々から愛されていることを日本人の誇りとしてこれから日本を作っていく子ども達に伝える事が我々大人としての責任だと感じました。



創立20周年記念行事

(有) オクト

常務取締役 鹿内 麻矢

青森県中小企業家同友会の20周年記念行事が、県内はもちろん県外からも同友会メンバーが参加し、盛大に開催されました。

初めに、池間哲郎氏による記念講演が「日本はなぜ世界の国々から愛されるのか」という題目で始まりました。同友会での講演や分科会などではなかなか聞くことのない、日本人として、人間としての根柢の話に心を揺さぶられ、胸が苦しくなり涙しました。この年齢になりこんなにも自国のことを知らないことに情けなさも感じました。戦争が起った本当の理由などももちろん教科書には出てきません。それがWGIIPの洗脳のせいなのかは、私には衝撃的過ぎてまだ理解するところまで行きませんが、海外で現地の人に寄り添い日本人としての誇りを持った先人たちのこと、その先人たちが尊い命を捧げてくれたからこそ今の日本があることを、現実として受け止めることができました。そしてラオスやパラオなどアジアの人々の肉声を現地に行き証言を取り続けている池間氏の信念と行動に感服しました。こんなにも日本人は愛されているんだ、素晴らしい先人たちに誇りを感じます。

その他、世界の国では、3人に1人しか大人にならない子供たちがいること、11億人以上が泥水を飲んでいないという、今の日本では考えられない現実が今でもあるということに胸を締め付けられました。敗戦国である日本が、蛇口をひねると美味しい飲み水が出てくるのが当たり前の国になるほど努力し、学習し、働き、現代を作ってきた。それなのになぜ、池間氏のいう日本の高校生の自尊心の低さや、先生や親を尊敬できない子供が多いのか。平和のため未来のために何をすべきなのか、これからの教育を考えていかなければいけません。

講演会の後には式典、祝賀パーティーと盛大に開催されました。来賓として三村県知事、小野寺青森市長をはじめ中同協の広浜会長、北海道・東北の各県の代表理事がお祝いに駆けつけてくださり、これから30周年に向けての、よいスタートとなりました。「よい会社・よい経営者・よい経営環境」私たちが向かうところ目指すところは一緒です。



もっと素敵に環境創造



総合建設業
株式会社

大坂組

〒030-0933

青森市大字諏訪沢字岩田51-1

電話 (017) 726-2461

FAX (017) 726-7009

運輸部 (017) 726-7007

第46回青年経営者全国交流会

in 沖縄に参加して

ササキ石油販売株式会社

代表取締役専務 佐々木佳弘

久しぶりの青全交、分科会はご当地ならではの学びを、と「(13分科会) 沖縄から見た『平和』のあり方」に参加しました。

沖縄大学の新城俊昭教授の報告は沖縄市平和の理念から始まり、琉球王国の成立から日本国へ、大東亜戦争沖縄戦、そして戦後から現在へと地元視点で沖縄の歴史について90分報告いただきました。討論では沖縄戦および戦後の歩みから私たち中小企業家は何を学ぶべきか、どのようにして平和な世の中を創っていくか、を全国から集まった青年経営者同士自由で活発な意見を話し合いました。「平和」が「自社の経営」に結びつき活発な議論になるところは流石、同友会です。

沖縄市平和の理念「平和とは、単に戦争のない状態をいうのではない。わたしたちの街から差別をなくし、弱い立場にある人びとを社会の一員として大切にすること。小さな子どもからお年寄りまで、障がいのある人もない人も、すべての人は人としての存在が尊ばれ、自由・平等であり、あらゆる危険から守られる。そして、ゆとりある豊かな生活

が保障され、互いに信頼しあい助け合っている地域環境である。」
ぜひ、皆さんも全国行事にどんどん参加し、深い学びを持ち帰って自社の経営に生かして貰えればと思います。



北海道・東北ブロック支部長・

地区会長交流会 in 青森

9月6日、7日の二日間にわたって東北6県から集結した支部長、地区会長などの役員が学びを深めました。

当日は未明に発生した「北海道胆振東部地震」の影響で北海道ブロックから参加予定だった9名が、交通の遮断によって参加できないというアクシデントが発生しましたが、残る59名の参加者で熱い議論が展開されました。事例報告では青森同友会から八戸支部の小グループ活動での成果と課題について、また岩手同友会・紫波花巻支部からは支部づくりについての紹介がありました。報告を受けてのグループ討論では、企業づくりに同友会の活動をどう活かしていくかに焦点を当てて議論が行われました。

二日目には中同協副会長で福島同友会・理事長の藤田建設工業(株)代表取締役会長の藤田光夫氏が同友会での学びを活かした企業経営の実践について報告を行いました。二日間の総括を行った宮城同友会・代表理事の鍋島孝敏氏は「昨年の交流会では皆さんに『同友会活動に疲

れていませんか?』と問いかけた。1年経ち、今回の交流会に参加してみてどうだろうか。役員こそが『同友会で会社が良くなった!』と元氣よく話せるよう、各地に戻ってから学んで叡智と英気を養おう」と締めくくりました。来年度の交流会は福島同友会の設営で開催される予定です。



Oct, 有限会社 オクト

青森県知事許可(般-24)第100121号
〒030-0852 青森市大字大野字鳴滝87-14
TEL:017-762-5223 FAX:017-762-5224

◆事業内容◆

- 内装仕上工事(軽鉄・ボード・床・クロス)
- タイル・石工事
- ビル・住宅リフォーム工事

経営指針発表会

9月29、30日の両日、『第16期経営指針を創る会』の発表会が、東北町の青森原燃テクノロジーズセンターで開催されました。「経営指針」とは厳しい経営環境を乗り越える為の羅針盤です。自社を取り巻く経営環境を整理し、これから進む方向を明らかにします。今期は6名の方が4月から半年間受講し、この日、それぞれの指針書を発表しました。発表会には修了生23名、各社オプザーバー25名が参加し、発表と質疑応答を行いました。受講生からは「改めて自分の会社と向き合い、今後自社にて、今回作成した経営指針書を活かし、更によい会社を社員と作っていききたい。」との声が聞かれました。



第16期経営指針を創る会を受講して



第16期経営指針を

創る会を受講して

中華そば きた倉

代表 北田 晴輝

私が経営指針を創る会を受講した理由は、自社の今後の方向性を明確にするためでした。創業と同時に同友会へ参加し、経営指針を創る会を知りましたが、しばらくは避けていました。正直、私には必要が無いとも思いますが、勧めを断り続けていました。年数と共に業績も伸び、社員さんが増えてきた頃に、私はこれまで感覚的に経営をしてきただけに過ぎないと気がつきませんでした。ビジョンを明確に出来ず、その日その日をただ営業するだけでは社員さんが希望を持てないわけがありません。自社の方向性、ビジョンを明確化し、明文

化するために、今回受講を決意しました。

経営指針を創る会では、指針書を創るということはもちろんですが、現在に至るまでのプロセスから学ぶことがたくさんありました。自身を振り返ることで見えてきた信念や信条、当たり前にしすぎて忘れていたことを思い出すきっかけになりました。16期の世話人という役を頂き、創る会だけではなく、社業でも沢山の方に支えられているという気付きにも繋がりました。

何よりも関わり合いを通じて仲間と絆を深められたことが私にとつての財産になりました。経営指針を創る会のプロセスは自社の経営と不離一体になっています。指針書を創るだけではなく、プロセスを経て、経営者である私自身が成長する機会となりました。

創り上げた指針書を元に、実践を重ね、社員さんや関わる方たちと共に成長していけるよう、これからの学びが続いていこうと思います。

屋根・外壁・リフォーム工事
板金工事の専門会社です。

 有限会社 工藤板金工業

〒039-1161 八戸市大字河原木字北沼 22-17

TEL 0178-29-1855 FAX 0178-29-1833

<http://www.kudou-bankin.co.jp/>

第16期経営指針を創る会を受講して



第16期経営指針を

創る会を受講して

SEVEN HORSE

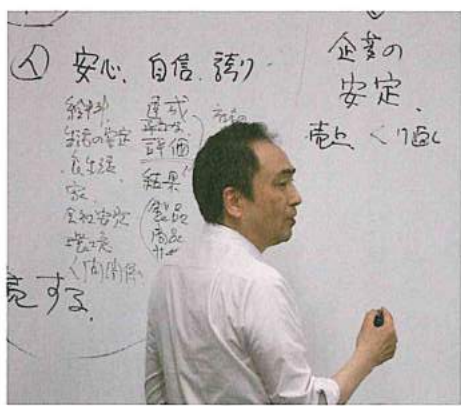
鹿内 史芳

皆様のお陰をもちまして、経営指針書創りをなんとか修了することができました。今までに考えたこともない気づきが沢山あり、修了生の皆さんからの本気のアドバイスと、同期の仲間からの熱い思いを戴いて、実行する為の強い気持ちを持つことができたことが一番の財産です。

私にとって、自己改革が大きなテーマ、課題でした。頑丈な鎧をまとっていた自分を皆様のお力をお借りし、少しずつですが自ら下ろすことが出来たのかなと思っています。こんなにも見方、考え方が変われることに

感動すらおぼえます。自身を見つめ直すことで、客観的に見ることができるようになりました。ひとえにこの指針書創りのおかげです。

来期、受講を検討している皆さん、毎日思い悩んで真剣に取り組んでいる今こそ、自社の指針がもつとも必要な時だと思えます。諦めずに共に手を取り合って前に進みましょう。そして、常に未来を見据え仲間と共にワクワクする気持ちを忘れずに、全てに取り組んでいきましょう。最後に、この指針書作成にあたり関わって下さった皆様に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



第16期経営指針を

創る会を受講して

高橋電気工業(株)

代表取締役 高橋 浩之

私が青森県中小企業家同友会と経営指針を創る会に、最初に関りを持ったのは、もう10年以上前になります。

経営指針を創る会の第一期生だった野村有生さんが、縁あって弊社協力会社に入社された際に、「社長であるおじさんには大変お世話になったから、恩返しをしたい」と、私を氣にかけてくれ、現場一辺倒だった私に、当時の指針づくりの資料などを示し、会計の基礎や会社のあるべき姿というものを教えてくれました。科学性や社会性、人間性という言葉を知ったのもその時です。

その後、同期生である鹿内史芳君や奥様の麻矢さんと他団体

で知り合い、同友会や経営指針を創る会にも誘って頂いて受講に至ります。私はとにかく数字への苦手意識が強かったので、その勉強になればいいかな、くらいの軽い気持ちで参加しました。が、実際受講してみると本当に大変で、もう投げ出そうと思った事も一度や二度ではありませんでした。しかし、それでもなんとか修了できたのは、私だけではなく、大切な社員をしっかりと見据え、本気で心配し気遣いをしてくれた先輩修了生の皆さんと、共に悩み、苦しみ、笑い、泣きながら進む6人の同期の皆さんがいてくれたからです。人生で一番濃いやい切れる半年間の時間の中で、沢山の気づきと共に、素晴らしい先輩や仲間と絆を深めるきっかけを頂きました。今後はこれまでの学びを活かし、私にとって良い会社ではなく、皆にとって良い会社を皆で創り上げてまいります。そのことを気づかせてくれた同友会と、経営指針を創る会に関わって頂いた皆様に、心より感謝を申し上げます。います。本当にありがとうございました。



お試し入店スマホアプリ
ぶらりん@タウン
Burarin

お問合せ

株式会社サン・コンピュータ 青森県八戸市北インター工業団地一丁目5番10号
Web <http://www.sancom.co.jp/> TEL 0178-21-1255

気になっていたお店や
行ったことのないお店を
「ぶらりんセット」を
頼んでお試し体験!

まずは
ホームページを
チェック!



第16期経営指針を創る会を受講して



第16期経営指針を

創る会を受講して

(株)加藤商店

営業課長 加藤 人士

私は去年一度目の受講をし、事情により今年度に持ち越しての受講となりました。受講しようと思ったきっかけは、「ワンマン経営である自社を社員が自主的に働ける環境を作り、やりの持てる会社にしていきたい。そして芯のない自分を変えたい」と思ったからです。

受講中は会長や社長からたくさん話を聞きました。今まで我が社はワンマン経営だと思っていましたが、会長が社員を想っていることや「社員は家族と同じだ」という言葉を聞き、違うイメージをもっていただくことに気がきました。指針書を完成させて、

会長の社員に対する思いがしっかりと届くようにという想いで半年間がんばりました。

経営指針を創る会を終え、現在自社で活用しています。最近やらなければいけないという想いや、受講中に社員さんの声を聞いていなかったことに気が付きました。目的は指針書に書いてある通りに物事を進めることではなく、社員のみなさんが幸せだと思える会社を作ることだと再認識しました。

半年間、修了生の方々、事務局の皆さん、同期のみなさん、そして、加藤商店の社員のみなさん、大変お世話になりました。



第16期経営指針を

創る会を受講して



株式会社島守ダクト

代表取締役 島守 英樹

私が『創る会』の受講を決意したのは、今年3月の八戸例会で、経営理念を掲げて経営している修了生の実践報告例会にオブザーバーとして参加したのがきっかけでした。1月に事業承継し、代表取締役となって3ヶ月目でした。ここ数年は売り上げ、利益ともに好調で、仕事の手離れの良い突貫工事や工場直接工事で付加価値をつけるのが大好きで、毎月毎月仕事に追われ突っ走っている自分、そして、それ以上に受注現場をこなすために汗して作業をしている社員みんなの姿がふと見え、立ち止まるとき、この先この状態が続いているのか？何か目的

や目標を立てなくていいの？と疑問を持っていました。

そんな折、4月に同友会へ入会し、同時に『創る会』を受講することになりました。『創る会』では経営理念を中心に勉強し「あなたは何屋ですか？」「ダクトは50年後ありますか？」という問いかけに心を揺さぶられ、経営に対する自分なりの哲学や信念が養われました。受講しての一番大きな成果は、社員さんひとりひとりの夢を聞くきっかけが出来たことや話し合いの場が持てたことです。経営者として、20年も当社で働いてくれている社員さんの将来の夢さえ知らずに今まで過ごしてきたことは、とても恥ずかしい思いでした。

この半年間『創る会』で学んだこと、経験したことは私にとって一生の財産となりました。共に半年間関わって頂いた修了生の皆様、同期のみんな、本当にありがとうございました。よい会社、よい経営者、よい経営環境を目指し、次世代へ継承する時が来るまで突っ走りたいと思います！

産業廃棄物収集運搬・処分業
建築・土木・管工事業



青森県上北郡東北町字柳沢59番地21
東管工業株式会社

代表取締役 蛸 沢 宮 行

TEL 0175-63-4450

FAX 0175-63-4467



鈴木建設工業株式会社
SUZUKI KENSETSU KOGYO Co., Ltd.

〒033-0062 三沢市新町三丁目 31 番地 2201
TEL 0176-53-3078 FAX 0176-53-9800 suzukikensetsu.co.jp



私たちはエネルギーを追求し、くらしのゆとりを育てる企業を目指します。

ササキ石油販売株式会社
SASAKI

本社：十和田市大字奥瀬字小沢口425-3
☎0176-72-2026(代) sasaki-gs.com

十和田湖町CS (0176-72-2026) A.M.1CS (0176-25-2311)
車検・東北運輸局認証自動車整備工場・LPガス・灯油・重軽油
各種住宅設備機器・水道設備工事・太陽光発電システム

企業展開催報告

第9回「元氣な青森発見！発信！地域活性化を担う企業展」

in 青函連絡船メモリアルシップ 開催報告

実行委員長 (有)松竹梅造園 代表取締役 渡辺 精一

10月5日(金)、6日(土)の両日、会場である八甲田丸にて、第9回企業展を開催することができました。スローガンは「つながる」でした。

準備作業から設営、運営に亘ってご尽力いただいた出展企業並びに、実行委員の皆様、また各方面でご支援、ご協力いただいた同友会会員企業の皆様に心からの感謝を申し上げます。

さて、1日目は企業間マッチングでありました。出展企業同士が互いの社業を知り、新たな連携を創出するきっかけを目指しました。狭い(一坪)ブースの中で自社をPRし、お客様(会員同志)と一対一で向き合った時、人間力が磨かれるのだと思います。2日目は一般開放。地域経済を支える主役である中小企業の取り組みを、広く市民に知ってもらおうと同時に、会員企業で働く社員とその家族がふれあい、より理解を深め、元気を発信する日になりました。1日



目の各企業ブースをまわって、見て・聞いて・話して・学んだことをもとと広く自社をPRする実践の場になります。教えてもらったことは忘れるが、自分が進んで学んだものは忘れないと言います。

この企業展の取り組みを今後の経営に活かし、少しずつでも輝き、誇りのもてる仕事をしていきたいものです。そのためにも全県で行う企業展は必要です。



 **金丸ジンパル**

〒036-0114 青森県平川市町居南田170-6
TEL 0172-44-2160 FAX 0172-44-2306
<http://www.jinpachi.co.jp/>



三本木農業高校企業見学バスツアー

共同求人活動運営委員会

委員長 花田 仁

共同求人活動運営委員会では、2015年度から県立三本木農業高校と連携した取り組みを展開しています。9月1日、同校の1・2年生を対象とした「企業見学バスツアー」を実施し、約30名の生徒が参加しました。今回は「漆畑ファーム(株)」「(株)日本の窓」「日産プリンス青森販売(株)」「(株)川長」「(株)青北建設」の5社を訪問し、実際の仕事風景や、普段なかなか見ることのできない「仕事の舞台裏」を見学しました。参加後のアンケートからは「これまで意識していなかった業種のことも知ることができ、関心が湧いた」「地域のために何かをしたいと思った」「地元の企業をもっと知りたいと思った」など、前向きな感想が数多く寄せられ、見学会の成果が感じられました。

のようです。今後こうした見学会やPR説明会を通して地元企業の魅力を発信していく必要があり、県内各地に同様の取り組みを拡大していきたい、若者の地元定着と地域の活性化を図ることが益々重要になってきています。

委員会では1月から2月にかけてグループワークや面接体験なども交えた企業PR説明会を同校で実施する予定です。地元高校生は地域に元気な中小企業があることをまだ知らないのが現状



welcome to DOYU!

新会員紹介



【津軽支部】

Re.create (リ、クリエイト)

代表 長崎 聡子

秋田県北初機器によるフェイシャルエステと筋弛緩療法とエネルギー療法の不思議整体です。是非ご利用くださいませ。

秋田県大館市字館下23-7

TEL 090-9634-7206 FAX 0186-43-2989

<http://recreate.wpblog.jp/>



【津軽支部】

(有)二唐刃物鍛造所

代表取締役 吉澤 俊寿

・刃物部門・本打ち包丁、オーダーメイド刃物など/
・鉄構事業部門・建築用鉄骨製作、文化財金物、製缶(プラント)など。Mグレード認定工業(国土交通省大臣認定工場)・・・『刀鍛冶の名門が住む伝統の打刃物〜作品に宿る職人魂と美しさ』

弘前市金属町4-1

TEL 0172-88-2881 FAX 0172-88-2882

<http://www.nigara.jp/>

A-SETU
青森設備工業株式会社

水の問題、迅速解決!!

もう、水まわりの心配はさせません。
017-766-2421

●モニメント
●デザイン
●ネオン
●サイン

ART DESIGN
株式会社
アイサイン

Call 0172-62-5508 Fax 62-5516
Office 〒038-1331 青森市浪岡女鹿沢西花岡82-1
URL <http://www.ai-sign.com> MAIL aisign@infoaomori.ne.jp



共に生きる障がい者問題委員会

【障害者問題委員会コラム … 教えて！障害者雇用のこと】

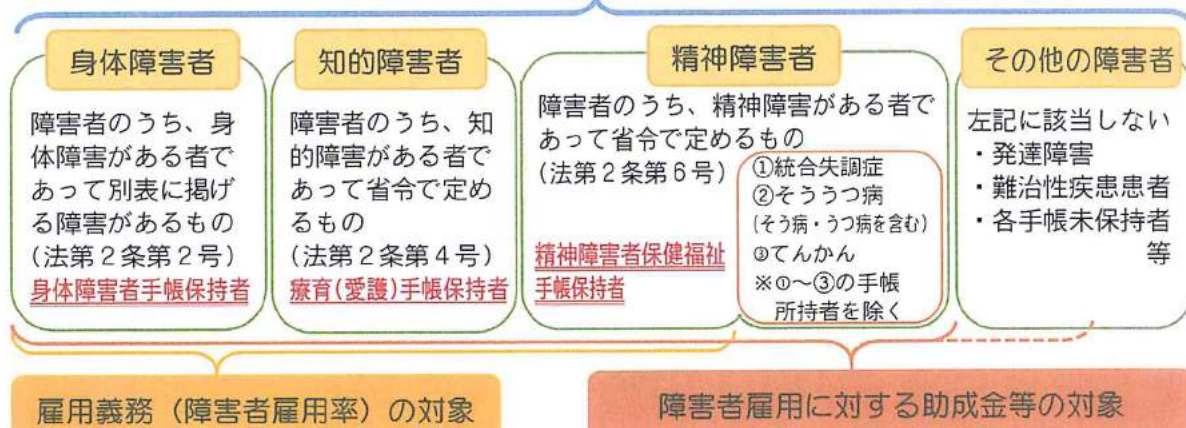
平成 30 年 4 月 1 日より…

◎対象民間企業の範囲と
法定雇用率が改正されています

	改正前	改正後
企業規模(従業員数)	50 名以上	45.5 名以上
法定雇用率	2.0 %	2.2 %

◎雇用対象に『精神障害者』が加わっています

障害者の雇用の促進等に関する法律（障害者雇用促進法）における障害者の範囲



※厚生労働省ホームページ『障害者雇用促進法における障害者の範囲』参照

『障害者雇用率の対象』と『障害者雇用に対する助成金等の対象』になる障害者の範囲は異なります！

◎障害者雇用にあたり、事前の準備から雇用まで、また働き続ける中での困りごとや相談を、企業や雇用者・従業員・障害者本人それぞれの立場にたって、継続的にサポートできるように制度や体制の整備が進んでいます。



～障害者雇用における疑問や困りごと、各種相談など、お気軽にご連絡ください～
『共に生きる障害者問題委員会 よろず相談窓口』まで

ニッポンの窓をよくしたい

MADO ショップ

MADOショップ 八戸青葉店

株式会社 幾久屋

〒031-0804 青森県八戸市青葉三丁目32-17
TEL 0178-43-1192 FAX 0178-43-1104

MADOショップは、納得できる窓リフォームのお店です。

KID 有限会社 カワシタ電業

電気工事 消防施設の設計、施工

むつ市中央2丁目21-1
TEL.0175-29-5611

釜臥山展望台からの眺め「アゲハチョウの夜景」

会員の素顔



アクサ生命保険（株）

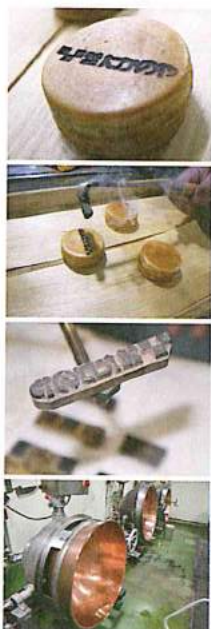
八戸営業所 営業主任

馬渡 里華

娘の影響で何とな〜く始めた卓球。今では私の方が真剣に打ち込んでいます。一本集中〜サ〜ッ!!

〜会員さんのページ〜

青森支部 （株）たかのや



企業PRにオリジナル浅草焼をどうぞ

昭和23年に祭り会場の出店から出発した（株）たかのやは現在7店舗を構え、2018年には自社工場を設置するまでに成長しています。

新サービス「焼印登録サービス」は、社名ロゴなどを型どった焼印を一つ一つ手作業で押したオリジナル浅草焼で企業PRをお手伝いしようというものです。特注の銅釜で多い日には800キロも作られるという粒あん、白あんをはじめ、二色やクリームなど各種の浅草焼に対応可能。自社イベントでの配布や訪問時のお土産として、青森のソウルフード「浅草焼」を利用してみてはいかがでしょうか。

登録料3万円（内、焼印制作代2万5千円（税込）。文字数・サイズにより応相談）

登録特典として割引券を進呈（5千円分）

編集後記

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。今年も会員の皆様に活用していただけるDOYUあおもりを製作していきますので、取材や情報提供のご協力お願い致します。広告掲載企業、広報委員も募集中です!!



有限会社 **ローズリー資源**

<http://www.rozure.com/>

廃棄物業・総合リサイクル業

本社／〒030-0955 青森県青森市大字駒込字深沢5-303

TEL 017-744-0575 FAX 017-744-0579

南部支店／〒039-1524 青森県三戸郡五戸町大字豊間内字地藏平1-578

TEL 0178-38-9294 FAX 0178-38-9295